

平成19年度 日本電気技術規格委員会
第2回 溶接専門部会議事要旨

1. 日時：平成20年1月30日（水）13:30～17:15
2. 場所：財団法人発電設備技術検査協会 本部 E・F会議室
3. 出席者（順不同、敬称略）
部会長：野本（東京大学名誉教授）
委員：小溝（大阪大学） 菅谷（日本溶接協会） 小関（東京大学） 堂ヶ原（関西電力） 幸（原田代理、東芝） 小澤（IHI） 光畑（パナソニック日立） 横野（日本非破壊検査協会） 風見（東京電力） 三輪田（中部電力） 鶴崎（栗原代理、三菱重工業） 菅沢（火力原子力発電技術協会） 乾（結城代理、原子力安全・保安院） 塚原（日本電気協会） 山下（神戸製鋼所） 森本（新日本製鐵（16:00から出席））
4. 議事概要
 - 4-1 代理者出席の承認、定足数の確認
委員総数21名；出席16名（内、代理出席3名） 欠席5名により、定足数の確認がなされた。
 - 4-2 委員の再任及び新任の報告（報告事項） [資料 WS-19-2-1,2]
委員の再任及び新任に関する書面投票の結果報告があった。
（1）再任の承認2名：安田委員、菅谷委員
（2）新任の承認3名：塚原委員、森本委員、山下委員
 - 4-3 前回議事要旨について [資料 WS-19-2-3]
前回議事要旨の公開と議事内容の確認をした。
 - 4-4 2次改正規約承認の報告（報告事項） [資料 WS-19-2-4]
部会規約の2次改正案の承認に関する書面の投票結果報告があった。
 - 4-5 運営細目改正案の承認（審議事項） [資料 WS-19-2-5]
事務局から部会の運営細目改正案の説明があり、審議の結果、改正案は挙手により承認された。
 - 4-6 検討課題（新規）の採否について（審議事項） [資料 WS-19-2-6,7]
ホームページ上に開設している『改正提案募集』に提案があった課題の報告があり、検討課題の採否が審議された。
採否は挙手により決議された。
【提案のあった件名】
（1）071106-1「手溶接士の技能資格における溶接姿勢の区分について」
（2）071106-2「手溶接士の技能試験における曲げ試験半径について」
（3）071106-3「溶接士の技能試験におけるアルゴンの純度の規定について」
（4）071106-4「JIS Z 3801のティグ溶接資格の扱いについて」
（5）071106-5「機械試験における曲げ試験の治具について」
（6）071115「自動溶接士承認」
 - 4-7 火技解釈第10章（溶接部）の改正提案について（審議事項）[資料 WS-19-2-6,8～16]
各検討グループから改正提案事項の説明があった。検討の結果、各検討課題提案の承認は挙手で行い、以下の内容が決議された。

【決議内容】

各資料について、部会でのコメント等を反映して調整し、部会長確認の後に、提案の承認を書面投票により行うこと。

各提案は次のとおり

- ・【WS06-06,WS07-01】：溶接後熱処理の温度
- ・【WS03-03-2】：有壁固定の明確化
- ・【WS03-04】：手溶接士の技能試験における作業規定
- ・【WS06-13】：機械試験方法の追加
- ・【WS07-05】：JIS Z 2320（2007）の見直し
- ・【WS07-06】：JIS G 3101 の年版の見直し
- ・【WS07-07】：JIS G 4304 の年版の追加
- ・【WS07-08】：JIS Z 2242（2005）の反映
- ・【WS07-09】：継手引張試験の判定基準の見直し

4-8 次回スケジュールについて

次回部会の開催は、後日調整することとした。

4-9 その他

特になし。

以上